

まちづくり交付金 事後評価シート
竜が台地区

平成20年12月

兵庫県 神戸市

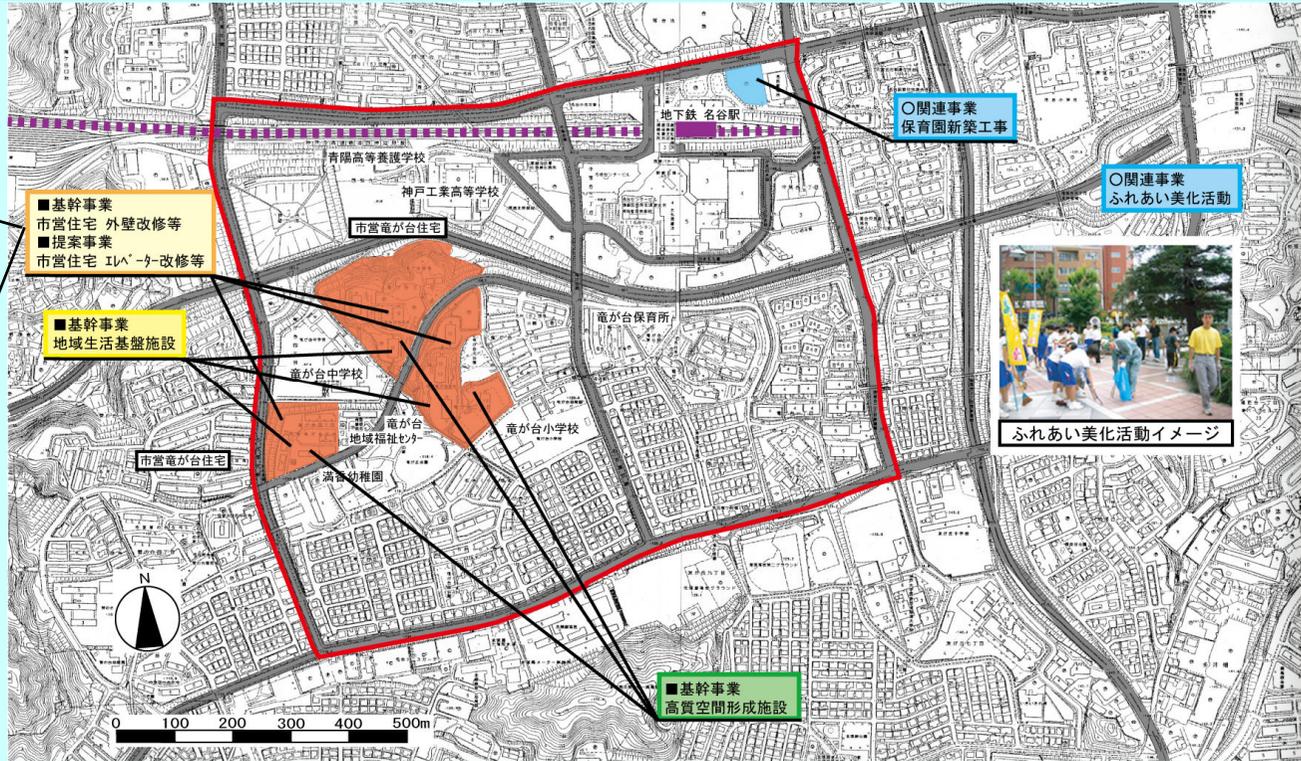
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	神戸市		地区名	竜が台地区		面積	88.8ha				
交付期間	平成17年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	248.6百万円	国費率	0.398					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	高質空間形成施設(市営住宅 団地内照明施設)、公営住宅等整備(ストック総合改善事業(外壁改修、電源改修、共聴聴アンテナ改善))										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	高質空間形成施設(市営住宅 団地内通路整備)				地元との調整により整備内容を変更			影響なし			
		提案事業	公営住宅等整備(ストック総合改善事業(エレベーター改修))				公営住宅ストック総合改善事業補助金交付要綱に該当しないため、基幹事業から提案事業へ変更			影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(市営住宅 団地内広場)				地元との調整により新たに事業を追加			指標2「市営住宅の空家率」に関連するが、数値目標は据え置く			
		基幹事業	高質空間形成施設(市営住宅 団地内照明施設)				地元との調整により整備内容を変更			影響なし			
		基幹事業	公営住宅等整備(ストック総合改善事業(感知器改善))				消防法改正に伴う事業の追加			指標2「市営住宅の空家率」に関連するが、数値目標は据え置く			
		提案事業	地域創造支援事業(ストック総合改善事業(感知器改善))				消防法改正に伴う事業の追加			指標2「市営住宅の空家率」に関連するが、数値目標は据え置く			
		提案事業	地域創造支援事業(ストック総合改善事業(エレベーター改修))				公営住宅ストック総合改善事業補助金交付要綱に該当しないため、基幹事業から提案事業へ変更			影響なし			
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成19年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		地元調整も踏まえた事業の変更・追加により交付期間が延長となったが、指標・数値目標への影響はなし。							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	防犯灯設置数	箇所	200	H16	220	H20	200	220	○	あり なし	住民の意見を踏まえた事業の実施により、設置数を達成することができた。	平成21年4月
	指標2	市営住宅の空家率	%	6	H16	3	H20	3.9	1.6	○	あり なし	老朽化した市営住宅の改善や屋外設備の整備により、空家率の低減につながった。	平成21年9月
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	住民を交えて都市再生整備計画の内容を検証し、まちの活性化を目的として必要に応じた計画の見直しを行った。	都市再生整備計画に記載し、実施できた						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			● 地元自治会と連携を図りながら維持管理に取り組んでいく。	
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できなかった						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				

様式2-2 地区の概要

竜が台地区(兵庫県神戸市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 魅力が低下したニュータウンの商業・文化施設や住環境再生により、地域の活性化を図る。 目標1 防犯性の高い、安全で安心な住環境を整備する。 目標2 市営住宅の賑わいの再生により、地区の活性化を誘導する。	防犯灯設置数	単位: 箇所	200	H16	220	H20	220	H20
	市営住宅の空家率	単位: %	6	H16	3	H20	1.6	H20
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の外壁や住宅設備の改善により、良好な景観が得られ、居住性の向上が図れた。 防犯灯の適切な箇所への設置により、安全・安心な住環境が確保された。 団地内の広場整備により、快適な交流の場の提供が図れた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 良好な住環境が確保されたので、今後も地元住民と連携しながら、適切な維持管理に努めていく。